



令和8年5月22日（金）発表

報道関係者 各位

令和8年5月22日

【照会先】

富山労働局労働基準部

健康安全課長 市井 慶尚

健康安全係長 竹折 拓哉

TEL:076(432)2731

## 富山労働局長が「熱中症予防パトロール」を行います！

### ～ 製造業の熱中症予防対策を確認 ～

富山労働局（局長 福井尚）は、令和7年の富山県の職場における熱中症による休業4日以上<sup>※</sup>の死傷者数が23件<sup>※</sup>と前年に比べ大幅に増加したこと、業種別に見ると製造業が2番目に多く、かつ死亡災害が発生<sup>※</sup>したことなどを踏まえ、製造業における熱中症防止対策の周知、啓発の一環として、熱中症クールワークキャンペーン（令和8年5月1日～同年9月30日）の展開を機に、下記により富山労働局長による熱中症予防パトロールを行います。

※ 富山労働局では例年2月に前年12月までの1年間の労働災害発生件数を集計し、公表していますが、今般、製造業における死亡労働者1名について、公表後に熱中症が原因であったことが明らかとなったことから、令和7年の熱中症による休業4日以上<sup>※</sup>の死傷者数をこれまでの22人から23人（うち死亡者1名）に訂正いたします。（別添1参照）  
記

1 日 時 令和8年6月2日（火）午後2時00時から  
（所要時間は1時間程度を予定しております。）

2 対象事業場

- (1) 事業場名：佐藤鉄工株式会社 本社・立山工場
- (2) 所在地：富山県中新川郡立山町銚木220
- (3) 業 種：金属製品製造業（橋梁、水門等の鋼構造物の製造業）
- (4) 労働者数：約200名（企業全体約300名）
- (5) 取組状況：WBG T指数計による管理、ウェアラブル端末の導入など

3 実施体制 富山労働局長ほか職員4名

4 当日のスケジュール等 別添2及び3参照

## 取材方よろしくお願ひします

取材を希望される報道関係者の方は、6月1日（月）午後3時まで下記担当者へご連絡ください。

富山労働局労働基準部健康安全課 電話：076-432-2731 担当：市井、竹折

○ 製造業における熱中症災害発生状況

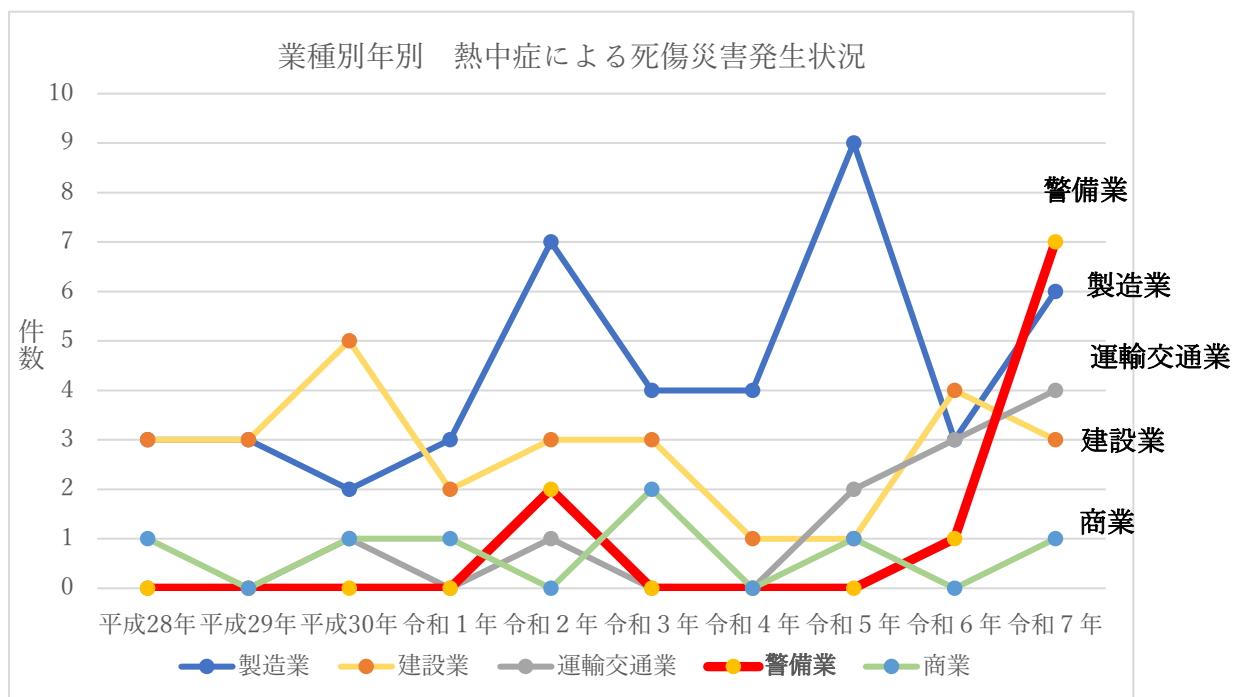
富山労働局 健康安全課

1 令和7年の製造業における熱中症災害の概要

|   | 発生月<br>時間帯 | 業種  | 年齢  | 経験<br>年数 | 休業<br>見込 | 気温<br>湿度     | 事案の概要   |
|---|------------|-----|-----|----------|----------|--------------|---|
| 1 | 7月<br>15時台 | 製造業 | 20代 | 1年       | 1週       | 32.9℃<br>56% | 工場において溶接作業を行っていたところ、体調不良となったもの。                 |
| 2 | 7月<br>12時台 | 製造業 | 40代 | 1年       | 死亡       | 31.7℃<br>70% | 設備の補修作業を行っていたところ、意識不明の状態で見送られ、救急搬送後に死亡が確認されたもの。 |
| 3 | 8月<br>11時台 | 製造業 | 40代 | 3年       | 5日       | 33.0℃<br>64% | 試験室においてラベリングの作業を行っていたところ、体調不調となったもの。            |
| 4 | 8月<br>12時台 | 製造業 | 50代 | 19年      | 1週       | 32.7℃<br>63% | 工場において、鋼板の加工作業を行っていたところ、体調不良となったもの。             |
| 5 | 8月<br>17時台 | 製造業 | 20代 | 5年       | 5日       | 31.8℃<br>56% | 工場において塗装吹付け作業を行っていたところ、体調不良となったもの。              |
| 6 | 9月<br>14時台 | 製造業 | 50代 | 4年       | 8日       | 33.6℃<br>53% | 高速道路において自動車の運転中に、体調不良となったもの。                    |

※気温、湿度は災害発生現場最寄りの気象台観測地点における観測値

2 過去10年間の主な業種別の熱中症による死傷災害発生状況



# 令和7年の職場における熱中症による死傷災害の発生状況

令和8年5月  
富山労働局

## 1 職場における熱中症による死傷者数の推移（過去10年間）

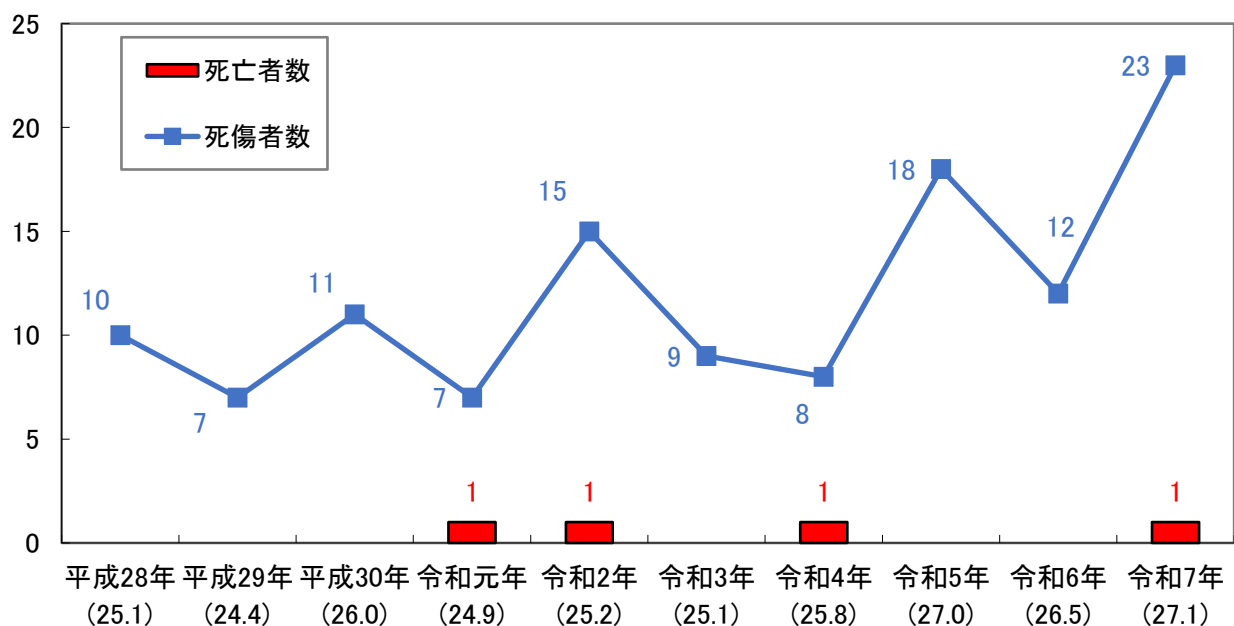
富山県内における、令和7年の職場における熱中症による休業4日以上の死傷者数は、令和6年より11人増加して23人となり過去10年間で最も多くなった。また、死亡者が1人発生した。（令和8年4月30日時点）※

増加した要因は、令和7年の夏季（6月～8月）における平均気温が令和6年より高かったことが原因と考えられる。

また、気象庁によると令和8年の夏は、全国的に気温が平年より高くなるとされており、引き続き、熱中症リスクが大きくなることが懸念される。

※前回集計（令和8年2月時点）以後に、職場における熱中症が原因で死亡したことが明らかとなった労働者1人を追加したもの。

職場における熱中症による死傷者数（H28年～R7年）



※ 括弧内の数値は6月～8月の平均気温（°C）を示す（気象庁HPの気象データから引用）

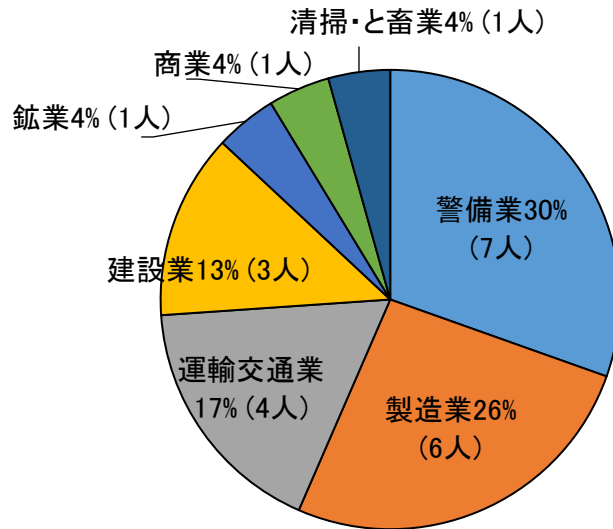
## 2 業種別発生状況

令和7年の職場における熱中症による休業4日以上の死傷者数（以下「熱中症による死傷者数」という。）を業種別にみると、警備業が7人（32%）で最も多く、次いで製造業6人（26%）、運輸交通業4人（18%）、建設業3人（14%）となった。このほか、鉱業、商業及び清掃・と畜業でそれぞれ1人（5%）発生した。

なお、死亡災害は製造業の事業場で発生した。

職場における熱中症の発生事例としては、交通誘導、建設工事又は荷の積み下ろしなど、屋外での作業中に発症したものが多くを占めた。屋内であっても、空調設備がない場合や空調設備があっても十分に効いていない場合、通風が不十分、高温多湿など、暑熱な環境下で発症したものがあつた。また、気温が高い場所で休憩を行い体調が悪化したとみられる事例があつた。

業種別熱中症による死傷者数（令和7年）

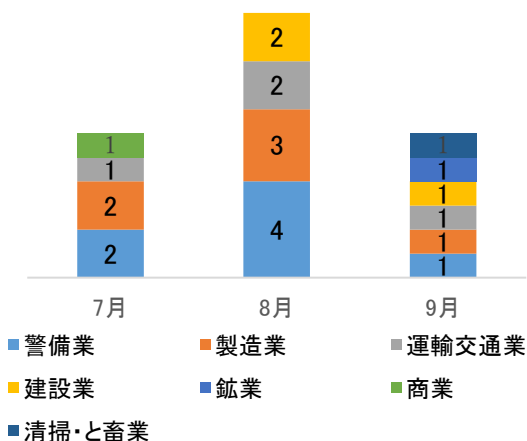


### 3 月別・時間帯別発生状況

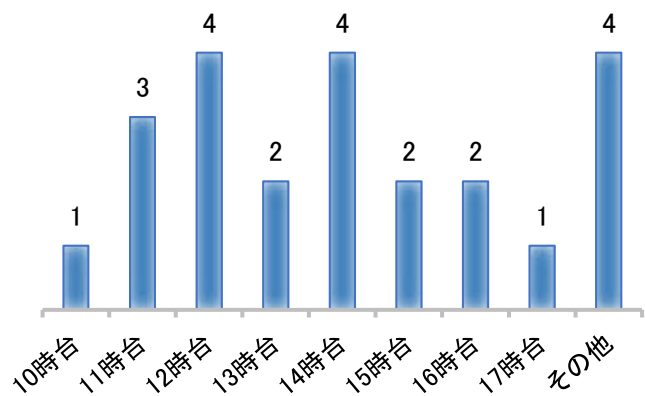
令和7年の熱中症による死傷者数を発生月別にみると、8月が11人と最も多く、次いで9月の6人となり、全体の77%を占めた。

時間帯別にみると、12時台及び14時台が4人で最も多く、13時台、15時台及び16時台はいずれも2人、17時台に1人発生しており、全体の半数以上が午後に発生した。

月別熱中症による死傷者数  
（令和7年）



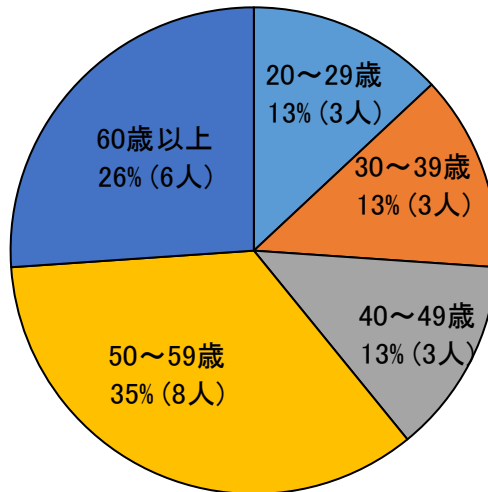
時間帯別熱中症による死傷者数  
（令和7年）



#### 4 年代別発生状況

令和7年の熱中症による死傷者数を年代別にみると、60歳以上が6人、50歳代が8人と全体の63%を占めており、次いで20歳代及び30歳代、40歳代が各3人となった。

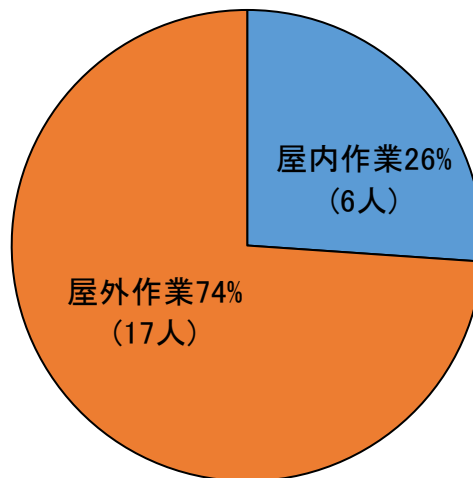
年代別熱中症による死傷者数（令和7年）



#### 5 被災者の従事業務の屋内外別の状況

令和7年の熱中症による死傷者数を従事作業の屋内外別にみると、屋外作業が17人、屋内作業が6人となった。

屋内外別熱中症による死傷者数（令和7年）



## 6 死亡災害事例（過去 10 年間）

令和 7 年に死亡災害が 1 件発生したほか、過去 10 年間では職場における熱中症による死亡災害が以下のとおり発生している。

いずれも単独作業時や一人でいるときに発症・重篤化している。

| 発生年月<br>時間帯                  | 業種  | 年齢           | 経験年数      | 気温               | 湿度         | 事案の概要   |
|------------------------------|-----|--------------|-----------|------------------|------------|---|
| R元. 6<br>13 時台               | 製造業 | 40 歳代        | 1年未満      | 29.8<br>℃        | 77%        | 暑熱な工場内での業務を終了し、帰宅のため駐車場に向かったところ、駐車場で倒れ、病院に搬送されたものの、熱中症が原因で死亡した。                                   |
| R2. 5<br>13 時台               | 製造業 | 30 歳代        | 9 年       | 29.7<br>℃        | 59%        | 午前中から、直射日光の下、屋外で機械修理を行っていたところ、正午過ぎ頃までに体調不良となり、事務所で休憩していたが、症状が回復せず、夕方、救急車で病院に搬送されたものの、熱中症が原因で死亡した。 |
| R4. 6<br>不明                  | 農業  | 50 歳代        | 33 年      | 29.3<br>℃        | 68%        | 農場の見回りに行った被災者が、農場近くの路上で、社用車の中でぐったりしているところを発見され、その場で死亡が確認された。<br>屋外作業を行っていたことなどから、死因は熱中症とされた。      |
| <u>R7. 7</u><br><u>12 時台</u> | 製造業 | <u>40 歳代</u> | <u>1年</u> | <u>31.7</u><br>℃ | <u>70%</u> | <u>設備の補修作業を行っていた被災者が休憩所に戻って来なかったことから、同僚が様子を見に行ったところ、意識不明の状態で見つかり、救急搬送後に死亡が確認された。</u>              |

**前日まで**

取材を希望される報道関係者の方は、6月1日（月）午後3時までに下記担当者へご連絡ください。

富山労働局 労働基準部 健康安全課 電話：076-432-2731 担当：市井、竹折

**当日のスケジュール（予定）**

午後1時30分より、工場入口の守衛所にて報道関係者の受付を行います。

工場巡回時における報道関係者の誘導は担当職員が行いますので、担当職員の指示に従ってください。

なお、屋内及び屋外での随行取材となりますので、熱中症の予防に十分にご留意いただきますようお願いいたします。

＜パトロールの流れ＞

- 14:00 富山労働局長からの挨拶
- 14:02 佐藤鉄工（株）担当者様から熱中症予防対策の概要を説明
- 14:15 工場巡回（30分）
- 14:45 富山労働局長からの講評
- 15:00 報道関係者ご退出

**報道機関の皆さまへのお願い**

- 1 当日は、午後1時30分に、直接工場入口の守衛所（別紙「現場案内図」参照）へお越しください。受付及び駐車場の案内を行います。
- 2 工場での事故防止等のため、以下の事項に御留意いただくようお願いいたします。
  - (1) 報道機関の皆様の駐車スペースは工場案内図に記載してありますが、当日は現地において担当職員が誘導・案内いたします。
  - (2) 工場入場の際は、ヘルメットを着用し、また報道機関の方と分かるように腕章等を着用してください。（ヘルメット・腕章等は、各自で御用意をお願いします。）
  - (3) 工場内での事故防止のため、動き易い服装・靴で入場してください。なお、上着は必ず長袖としてください。
  - (4) 屋内及び屋外での随行取材となりますので、熱中症の予防にご留意いただきますようお願いいたします。
  - (6) 労働災害や取材用機材の損傷の防止のため、取材用機材の大きさに御配慮願います。
  - (7) 工場内には「立入禁止区域」がありますので、労働局の担当職員の指示に従ってください。また、安全な作業の遂行のため、パトロール中は工場責任者や作業員の方への取材は御遠慮願います。

# 【工場案内図】

